

科目名	作業評価学			ナンバリング	ASE245	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	北山 淳	担当教員	佐藤真一				

授業の概要	<p>評価を構成している項目を考え、その項目の意味を把握する。作業療法の対象となる範囲は広い。疾患別と障害別さらには年代別などで用いられる検査・測定の種類も多くなる。この授業科目では、それぞれの領域から代表的な検査法を学ぶ。さらに評価結果から対象者に関わるアセスメントの導き方を修得する。バイタルサインチェック、メディカルチェックという基本的な考え方を学ぶ。(オムニバス方式/全8回)</p> <p>(佐藤真一/2回) あらゆる作業療法の対象を評価するために求められる基本的な評価方法について学ぶとともに、急性期病院で求められる評価方法について理解を深める。</p> <p>(井上忠俊/6回) 作業療法の現場において行われる、バイタルサインのチェック等の方法と結果の解釈について学ぶとともに、高齢者を対象とした作業療法で行われる代表的な評価方法について理解を深める。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 作業療法面接ができる。 2 観察評価のポイントを理解する。 3 バイタルサインを測定できる。 4 面接・実技における評価が測定できる。 5 検査測定の意味や目的を理解する。 6 作業療法評価計画が作成できる。 7 リスク管理ができる。 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	基本的に演習になりますので、動きやすい服装で参加してください。						
ディプロマポリシーとの 関連	【健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー】						
	1	広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	2	地域に住む孤立しがちな人びとや、心身および生活上の障害を抱えた人びとの個別な健康・医療課題を的確に把握し、子どもから高齢者に至るまでその人らしく生活できるように、その生活支援や就労支援を行うことで、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	3	健康・医療に関わる課題を解決するために、作業療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた作業療法技術を駆使して生活能力の再獲得への支援ができる。					
4	健康・医療に関わる作業療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的且つ能動的な学修ができる。						

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> ①作業療法評価の目的を説明できる。 ②作業療法評価の過程を説明できる。 ③作業療法評価が実行できる。 ④対象者の心身機能と身体構造の評価項目と目的および手段を関連づけて説明できる。 ⑤その対象者に必要な評価項目を選択することができる。 ⑥評価計画を作成できる。 ⑦必要なリスク管理を説明できる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①評価結果から対象者の肯定的側面(利点)と否定的側面(問題点)を整理できる。 ②作業療法評価が円滑かつ正確に実行できる。 ③作業療法評価の目的と評価項目および手段を説明できる。 ④評価にかかる時間を予測し評価計画の立案ができる。 ⑤作業療法の治療計画の意味を理解できる。 ⑥リスク管理を実践できる。

成績評価観点 評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)	●						90%
小テスト・授業内レポート					●		5%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			●	●			5%

課題、評価のフィードバック	授業内、また期末試験後に実施する
---------------	------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考	
授業計画	第1回	オリエンテーション	評価の意味と目的、作業療法評価の流れ		
	第2回	老年期の評価①	面接、観察、バイタルサイン		
	第3回	老年期の評価②	認知機能(MMSE、HDS-R、CDR、DASC21、DBD)		
	第4回	老年期の評価③	精神機能(GDS、SDS、VI、TMT)		
	第5回	老年期の評価④	生活機能(ADL、IADL)		
	第6回	老年期の評価⑤	環境(ZBI、FRI)		
	第7回	急性期の評価①	脳神経系の評価		
	第8回	急性期の評価②	反射反応の評価		
	試験	レポート			
	授業の進め方	座学と演習にて行います			
授業外学習の指示	授業で学んだ内容を整理しまとめておく。配布資料は保存しファイリングしておく。(予習90分、復習90分) (授業外学習時間: 毎週 分)				

教科書	標準作業療法 作業療法評価学(第3版) 医学書院 定価 6,264円(本体5,800円+税8%)ISBN978-4-260-03003-8
参考書	指定なし。授業内で配布する資料を参考にすること。
参考URLなど	特になし
その他	特になし